

令和7年度 10月号



ふようだより

台東区立富士幼稚園
園長 足立 祐子
台東区浅草 4-48-18
電話 3874-2460
fuji-yo@city.taito.tokyo.jp



とうきょうすくわく

園長 足立 祐子

「とうきょうすくわくプログラム」

ようやく朝夕の風が涼しくなってきました。いよいよ秋の到来です。富士幼稚園では昨年度より東京都の「とうきょうすくわくプログラム」を活用した探求型の体験活動を通して、とても有意義な経験をさせていただいています。5歳児学級ではキッズカメラと電子顕微鏡を購入し、身近な植物の観察を楽しんでいます。未来の科学者を目指して日夜研究活動が行われているところです。また、昨年度に引き続き『実りを見つめるプロジェクト』も行っています。この「とうきょうすくわくプログラム」は園での主体的・協同的な探究活動を通じ、子どもの豊かな育ちをサポートするための事業です。今年度も、台東区の姉妹都市の宮城県大崎市から、稲の苗を送っていただき、バケツ稲の栽培に挑戦しました。オンラインで管理や収穫について、大崎市の方にご指導いただきました。お米を狙う動物たちとの戦いを経て、お米も実り始めています。毎日その様子を見ながら発見したことや、感じたことがたくさんあったことでしょう。米不足の近年は、ひと粒のお米に対する意識も違ってくると思います。

その他に、富士幼稚園では、夏野菜の栽培や収穫などを実施してきました。限られた自然環境の中でも、自分で関心を持ち、水をあげて世話をしてきた植物は、格別に大切な存在です。自分たちで育てた野菜はほんの数種類でしたが、ひとつの経験は、必ず次の興味・関心につながります。植物を育てるという活動を媒介に、心が大きく育つことを実感しています。今年も園庭のぶどうがたくさん実り、自分たちで食べたり、小学校や警察署など普段お世話になっているところにお届けしたりしました。植物の実りは、心の実りにつながりますね。

いよいよ運動会

10月18日には、幼稚園の運動会が開催されます。行事は、保護者の皆様にとっては、お子さんの成長を実感したり、幼稚園での生活や友達との関わりの姿を垣間見たりできる、楽しみな機会であると思います。そして園児にとっては、一人一人の力や、友達関係、そして学級としてのつながりなどを充実させる、大きなステップとなっています。この時期の子供たちは、本当によく動きます。よじ登ったり跳び下りたり、また、走ったりジャンプをしたりと、色々な動きに挑戦しています。幼児の時期は、様々な運動機能が育つ時期と言われていますが、それは、ひとつの動きを取り上げて繰り返し訓練することばかりで育つわけではありません。本来は、子供たちがとことん本気で遊ぶ中で育っていくものだと思います。幼稚園では、出来るだけのびのびと体を動かせる環境を作りつつ、どの子も喜んで体を動かして遊べるように工夫をしていきます。「体を思いきり動かす」とことと共に、「友達と相談する」「自信をもつ」「友達を認める、応援する」「満足感をもつ」などという大きな成長にも期待しています。

